
めいわ持続可能な観光地域づくり計画 (ロードマップ)

令和5年4月1日



一般社団法人明和観光商社

めいわ持続可能な観光地域づくり計画

現状と課題

- 広大な敷地を有する国史跡齋宮跡公有地の維持管理には多額のコストがかかっているが、活用にはこれまで多くの制限があり、また公益財団法人基金により維持管理を行っているため、これまで積極的に文化財を活用することから得た収益を保全管理へ充てるといった「保存」と「活用」の両立ができていない。そのため、「保存・保全」の側面からみれば、維持管理コストの増大という課題があり、「活用」の側面からみれば、収益性のある歴史文化資源の低利用という課題を抱えている。
- 明和町には擬草紙、御系織など地域に残る有数の文化財が点在するものの、地域内を含め認知されていない現状である。地域内での啓発や無形文化財のノウハウの保存など記録映像の配布や販売により、技術や文化の継承を行っていくきっかけづくりに一定の効果を得た一方で地域に根付いた「伝統文化・行事」については若い世代の担い手不足が課題として依然として残り、「保存」が危ぶまれている。

方針

明和町の歴史や文化、産業、ヒト、モノ、コトなどの観光資源について地域住民とともに整理、発掘を実施していき日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)に基づいた取組を進めることで持続可能な体験・観光コンテンツの造成を図ると共に、地域内での持続可能な観光を推進していく人材の育成、リーダーの創出を図る。

ビジョン

将来にわたって旅行者を惹きつける地域＝持続可能な観光地域づくりを実践するまち

歴史・文化がサステナブルな“齋宮”の創生

歴史文化の維持継承だけにとらわれず、サステナブルな「宮(みや／みやこ)」として、齋宮(明和町)を位置づけ、創生していく。

GSTC,JSTS-D(日本版持続可能な観光ガイドライン)に基づいた「持続可能な観光地域づくり」を推進

地域の伝統を継承、自然の保全と活用に取り組んでいく人材(サステナブルコーディネーター)の育成

世界的な潮流や新型コロナウイルスの感染拡大がもたらす大きな社会変容の中、観光客だけではなく、地域住民にも配慮した取組を推進

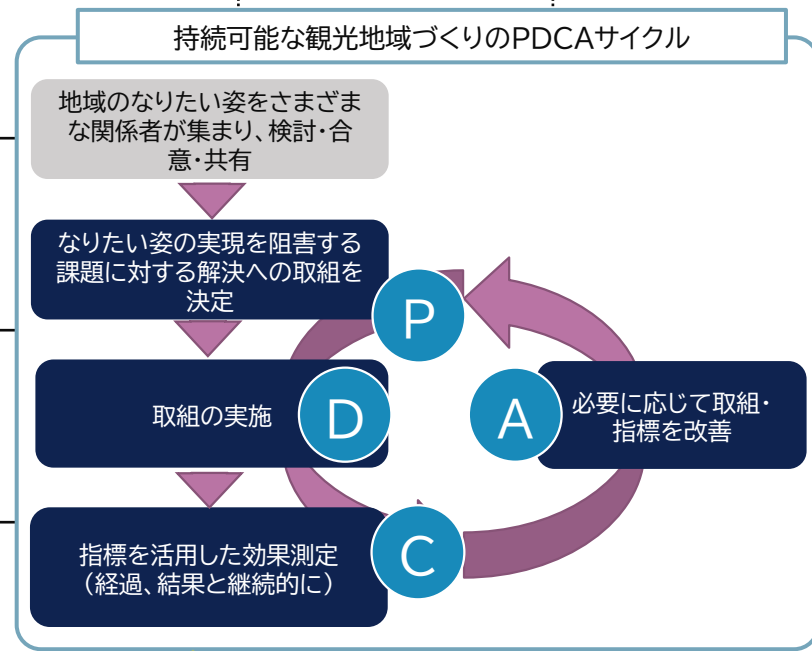
地域の子ども達を対象に地域内の郷土文化、産業に加えGSTCの考え方を養うことで「住み続けたい」、「戻りたい」まちとして機運醸成

めいわ持続可能な観光地域づくりロードマップ

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
テーマ	持続可能な観光まちづくり体制整備			持続可能な観光による産業育成		
目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ●住民が地域の宝を知り、明和町に誇りを取り戻す ●持続可能な滞在交流型観光システムを生み出す 			<ul style="list-style-type: none"> ●地域の交流を活発化させ、生まれた産業を育てる 		
トピックス		● 明和町制65周年	● 大河ドラマ	● 大阪万博	● 次期観光振興計画策定	

日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)に基づいた取組による持続可能な観光地域づくりに向けた実現ステップ

観光を活用した持続可能な地域づくりに向けた準備	持続可能な観光地域づくりに取り組む意義・期待・目的の明確化	
	既存の関連計画・施策・課題/指標・データの整理	
	他部署・関連事業者の参画活動	
ステップA 地域のなりたい姿と課題を明確にする	①対象地域を決める	
	②利害関係者を特定し、参画させる	
	③観光資源と課題を洗い出し、把握する	
	④ビジョンを共有し、今後の課題を明確にする	
ステップB 解決する課題を特定し、取組、指標を具体化する	⑤重点課題を特定し、合意を形成する	
	⑥重点課題を解決する取組を検討し、共有する	
	⑦重点課題と解決する取組を踏まえ、指標を検討する	
	⑧指標を特定し、計測手法を具体化する	
ステップC 指標を計測し、分析・評価し、公表、改善する	⑨データを収集し、指標を計測する	
	⑩指標の推移を分析・評価し、取りまとめて公表する	
	⑪指標や経営体制を見直し、改善する	



ロードマップ

国際認証取得に向けた体制整備	GSTC基準に基づく現状評価およびJSTS-Dに基づく体制整備	国際認証取得	JSTS-Dに基づくマネジメント
国際認証に沿ったマネジメント			
研究会の発足・運営	多様な主体の参画による地域の課題共有及び合意形成		
持続可能な観光商品の開発・展開	地域資源を活用した持続可能な観光プログラムの造成および販売		JSTS-Dに基づく持続可能な観光プログラムの運営・管理体制の構築
サステナブルコーディネーター育成	サステナブルコーディネーター育成プログラムの実施		